



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 311
February
2019

トピックス

ADRC客員研究員 レポート

ジャニス モンテス
パダグダグ (フィリピン)

国際会議への参加

シンポジウム「防災分野に
おける宇宙技術利活用のた
めの人材育成」

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2019

●ADRC客員研究員レポート

ジャニス モンテス パダグダグ (フィリピン)

マブハイ！ (フィリピンのこんにちは)
私はフィリピンより参りましたジャニス・
モンテス・パダグダグと申します。ADRCの
客員研究員として2019年1月8日から4月5日
まで神戸に滞在しています。

私は、2012年にフィリピン政府で統計学者
として働き始め、現在は、民間防衛官を任命
され、民間防衛室 (OCD) の企画課に所属
しています。

災害リスク削減・管理法 (共和国法第10121号) では、防災に関する政
策立案、コーディネーション、監督、モニタリング、評価などの役割を
国家災害調整評議会 (NDRRMC) が担うことが定められており、NDRRMC
の事務局をOCDが努めています。OCDのミッションは、包括的な民間防
衛と災害リスクの軽減を目的とした戦略的かつ体系的なアプローチの継
続的開発、プログラムを実施、被災後の対応など多岐に渡ります。

政策立案および計画においては、調査、計画、プログラムの作成、予算
編成、プロジェクト開発、および市民防衛および災害リスク軽減ならび
に気候変動適応プログラム、プロジェクトの立案など、信頼における効
率的かつ効果的なサービスを提供することで、OCDの使命に貢献して
おります。

民間防衛官としての主な責務は、OCDの計画、行動、プログラム
(PAP) の開発と、(1) 災害への備え (2) 災害予防・被害軽減、(3) 災
害の応急対応、(4) 災害復旧・復興の4つの柱への資源配分になります。

私はまた、OCDの成果を毎年達成するための適切な予算の執行と定期
的な実施という観点から、これらのPAPの管理と評価も担当しており、
OCDのGawad Kalasagプログラムを通して、災害リスク軽減、気候変動
への適応の計画に関する様々なプログラム、防災関係者から提案された
イニシアティブを評価、検証しました。

これらの検証は、地域レベルにおける災害リスク軽減、気候変動への適
応のための活動の検証、見直し、推し進めていくための判断材料となり
ます。私はOCDで勤務していた過去6年間に渡って、DRRMの計画と方針
の策定と見直しを促進してきました。

今回、日本で研究できる素晴らしい機会を頂いたことにつきまして、
OCD、ADRC及び日本政府の皆様に感謝を申し上げます。このプログラ
ムを通して、日本の災害に関連する専門知識や先進技術、優良事例やイ
ニシアティブを学び共有することによって、フィリピンの持続的な発展
に向けた防災対策の強化につながっていくことと確信しております。



続き**●国際会議への参加****シンポジウム「防災分野における宇宙技術利活用のための人材育成」**

アジア防災センター（ADRC）は、2019年1月11日にインドネシア（バリ）のウダヤナ大学で開催された、防災分野における宇宙技術の利活用をテーマとした「Human Resource Development and Space Data Utilization for Disaster」のワークショップに出席した。ワークショップには、主催機関である山口大学とウダヤナ大学の関係者、現地の防災担当機関、東京大学、防災科学技術研究所などから約50名の関係者が参加した。

ADRCは、センチネルアジアの概要や近年の緊急観測に関する報告を行い、災害時における要請の方法や、センチネルアジアへの参加方法などについて質問を受けた。

**問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。